

平成29年度 九州ブロック事業報告

1. 活動テーマ

「地域に責任を持つ保健師活動を考える」

2. 目的

- 1) 「地域における保健師の保健活動に関する指針」を活用した活動の可視化に努め、各地域の活動の充実を図る。
- 2) 効果的な保健師活動、人材育成、各支部活動の取り組み等情報交換しブロック活動及び各支部活動の充実を図る。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	4月～7月	各支部	各支部長名簿作成（電話・メール）と配信メール等で情報伝達や情報交換
2	8月5日（土） 10:00～15:30	沖縄県小児保健センター	<ol style="list-style-type: none"> 1 全国保健師長会活動報告 常任理事 岡島さおり 2 研究報告 「地域包括ケアシステム構築の推進にかかる保健師の役割に関する調査」 報告者 糸島保健福祉事務所 森松薫 3 講演 「地域に責任を持つ保健師活動 ～住民と共に地域づくりを考える～」 講師 札幌市保健福祉局高齢保健福祉部 地域包括ケア推進担当部長 岡島さおり 4 実践活動報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「地域に根ざした母子保健活動 ～健康課題から地域特性に応じた 母子保健活動を考える～」 報告者 伊江村医療保健課医療保健センター 課長補佐 垣迫紀子 2) 「那覇市における地域包括ケアの取り組み」 報告者 那覇市福祉部ちやーがんじゅう課 副参事 仲宗根輝子 3) 「小学校区単位の健康づくりの展開について ～地域住民協働を目指して～」 報告者 糸島市健康増進部健康づくり課 健康推進係 係長 木村和美 5 グループワークとグループ発表 GWテーマ：「地域に責任を持つ活動とは」
3	8月5日（土） 15:45～16:45	沖縄県小児保健センター	<p>【九州ブロック理事・支部長会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各支部活動報告、 ・人材育成指針策定状況 ・支部活動、会員加入推進等について情報交換

4. 結果・課題

ブロック研修会は、103名（県外25名・県内78名）の参加者があった。研修企画検討委員会を立ち上げ検討するプロセスで、現場での課題等が意見交換され統括保健師の意識や保健師仲間としての連帯意識が高まった。研修においては、「地域の課題の見える化、見せる化の重要性」や「公衆衛生看護のコア」について再認識できた。又、統括保健師として地域の健康課題の共有の方法や健康課題に対するあるべき姿（ビジョン）を明らかにする事、保健師人材育成のあり方について、行政保健師の果たすべき役割等多くの事が学べたと感想があった。今回の研修が、「地域に責任を持った保健師活動の強化」の再認識につながったのではないかと感じた。

理事会・支部長会は、理事や各支部長が顔を合わせて情報交換できる年1回の貴重な機会となった。各支部からの活動報告の中で特に、各自治体独自の保健師人材育成指針や会員拡大に向けて工夫している内容が話され各支部の情報交換の場となった。

時間的制約があり、十分な検討を行うことができなかつたことから、メール等を活用し活発に支部間で情報交換できるように努めていきたい。

支部長会議後の懇親会は、多くの支部長が参加された。キャリアが短い保健師が多い職場環境で、増大する現場業務を行う負担感など、リーダーとして日々業務マネージで困惑していることなどが共有された。人材育成体制や効率的な業務のあり方等、今後も課題解決すべき内容が多く出された。

5. 支部活動の特徴

各支部が地理的に離れており、定期的な会議開催はできないため年に1回会議を開催している。通常は、各支部長名簿を活用し電話やメールにて情報交換を行っている。

6. 委員・支部長（責任者○印）

○理事	國吉 香代子	沖縄県南部保健所
理事	森松薫	福岡県糸島保健福祉事務所
福岡県	占部 芳里	福岡県京築保健福祉環境事務所
福岡市	河野 みどり	福岡市中央区保健福祉センター
北九州市	清田 啓子	北九州市保健福祉局先進的介護システム推進室
佐賀県	陣内 祥子	佐賀中部保健福祉事務所
長崎県	稗圃 砂千子	長崎県福祉保健部福祉保健課
熊本県	森田 紀代子	八代市健康福祉部健康増進課
大分県	藤本 紀代美	大分県保健福祉部健康対策課
宮崎県	木添 茂子	宮崎県都城保健所
鹿児島県	今村 恵	県こども総合療育センター（県発達障害者支援センター）
沖縄県	玉城 浩江	沖縄県北部保健所